

NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

2016年7月5日

TB16-0594

難治性白血病の遺伝子変異の検出法に関する
特許のライセンスを株式会社 LSI メディエンスに供与

タカラバイオ株式会社と株式会社LSIメディエンス(以下「LSIM社」とは、当社が保有する、悪性度の高い急性骨髄性白血病の主要原因であるFLT3遺伝子の変異検出法に関する特許のライセンス契約を締結しました。本契約により、LSIM社は、本特許技術を用いた検査サービスを日本において非独占的に実施し、当社は、LSIM社よりライセンス料を受領します。これにより、FLT3遺伝子の変異検出法に関する特許のライセンス先は、国内および海外で5社となりました。

FLT3 遺伝子の重複変異 (ITD 変異と呼ばれる) は、急性骨髄性白血病の難治性を示す遺伝子異常マーカーで、急性骨髄性白血病患者の約 1/3 で検出されます。この ITD 変異が確認された症例では、治療後の経過がよくないことが報告されています。

現在、FLT3 遺伝子の ITD 変異を標的とした分子標的薬の開発が世界中で行われていますが、これらの分子標的薬を投薬する前に、ITD 変異の有無を検査すれば、治療効果が見込まれる患者のみに分子標的薬を投与することができ、よりの確な治療が可能となると期待されています。

LSIM社は、今回のライセンス契約のもと、患者等の検体におけるFLT3遺伝子のITD変異を検出する検査受託を行います。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
事業開発部
Tel 077-565-6970

<参考資料>

【株式会社 LSI メディエンス概要】

本 社 所 在 地 : 東京都千代田区内神田一丁目 13 番 4 号 THE KAITEKI ビル
代 表 者 : 伊藤 昭夫
設 立 : 1975 年 4 月 15 日
資 本 金 : 30 億円
従 業 員 数 : 3,415 名 (2016 年 3 月末)
事 業 概 要 : 臨床検査(生化学的検査、血液学的検査、免疫学的検査、微生物学的検査、遺伝子関連検査、病理学的検査、その他検査)、バイオマーカー測定と解析(タンパク質、遺伝子)他
ホームページ : <http://www.medience.co.jp>

【語句説明】

FLT3 遺伝子変異(ITD 変異)

FLT3(FMS-like tyrosine kinase 3)は主に未熟な骨髄細胞の表面に発現している受容体タンパク質で、初期造血制御において重要な役割を担っていると考えられています。急性骨髄性白血病の約 1/3 の症例において FLT3 遺伝子の膜近傍(JM)領域周辺に Internal Tandem Duplication (遺伝子塩基配列の一部が重複する変異:ITD 変異)が発生しており、この変異を有する症例は予後不良であることが知られています。ITD 変異によって FLT3 分子は常に活性化された状態となり、様々なシグナル伝達系を介して細胞に増殖のシグナルを送り続けます。これによって、無制御な白血球の増殖が起こるようになると考えられています。

急性骨髄性白血病

急性骨髄性白血病は、未熟な白血球細胞が分化異常のため急速に骨髄中で増殖して蓄積することにより、正常な血液の細胞を造る骨髄の造血機能が障害され、好中球、赤血球、血小板といった血液細胞が減少する、特に成人に多く見られるタイプの白血病です。